

J-DAVID News



Japan Dialysis Active Vitamin D Research Group



今年も師走を迎えました。忘年会も始まりますね。J-DAVIDは症例登録期間が12月28日まで。いよいよ最後の1カ月ですので、1症例でもたくさん登録いただきますよう、何卒、なにとぞ、よろしくお願いしま〜す。

世話人からのメッセージ

「目の前の不思議から始まる臨床研究：予想外がおもしろい」

東海大学腎内分泌代謝内科
深川雅史先生

学生や研修医の指導をしていると、毎週のように気づくことがある。彼らは結構よく勉強しているが、その多くは1対1対応型の知識であり、鑑別診断も教科書の表の上から順番にやってくる。こういうタイプは、重要な問題点を見逃したり、的外れな検査をたくさんしがちである。もう一つのタイプとして、経験が中途半端な後期研修医に多いのだが、やたらエビデンスの知識があるが実用的でなく、それが無い状況では、逆に何も出来ない。これらの人たちに共通しているのは、目の前の患者さんをみて、病態を考え、不思議と感じる姿勢の欠如である。

研究の方をみても、同じように極端な姿勢の人たちがたくさんいる。時代の先端に行く遺伝子発現の網羅的解析や、統計的手法を駆使した臨床研究でもよく感じるが、この人たちはその結果をみて初めて「仮説」を考えるのであろうか？たしかに、このようなアプローチで全く新しいことが偶然見つかることはあると思うが、忙しい臨床医がそのような姿勢で研究を進めることは基本的にむずかしいとおもわれる。

それでは、われわれ臨床医は、どのように臨床研究に貢献できるのだろうか？その最初の一步は、やはり目の前の患者さんをよく診ることであろう。よく診るというのは、病態を理解しようとするところから始まるが、必ずしも一つの病態では説明出来ないことに気づくことで、さらに深まるものである。これらをもとに、小規模の臨床研究を行うことも出来る。

もう最先端の手法について行くことが出来なくなりつつある自分ではあるが、これまでこのような姿勢で、ミネラル代謝に関係するいくつかの新しい病態を解明することができたのはラッキーだったと思う。その中でも一つ感じたことがある。逆説的ではあるが、実験でも、臨床でも、「予想外」の結果が出たほうが面白いことが隠れていることも多いということだ。

これからの若い人たちにも、目の前の不思議を見逃さないで、予想外の場合は、よく考えて、そこから発展して、このJ-DAVIDのようなきちんとした臨床研究につながることを期待したい。



最近の文献から

パリカルシトールによる2型糖尿病患者におけるアルブミン尿の減少(VITAL study): 無作為化比較試験

Selective vitamin D receptor activation with paricalcitol for reduction of albuminuria in patients with type 2 diabetes (VITAL study): a randomised controlled trial

de Zeeuw D, et al. Lancet 376: 1543-51, 2010

【ポイント】 ACEIまたはARB投与中でアルブミン尿を呈する2型糖尿病患者を、プラセボ：パリカルシトール1 μ g/day, 2 μ g/dayの3群に無作為に割付け、尿中アルブミン/クレアチニン比(UACR)を24週間観察した。UACR変化率はプラセボ群で-3(-16~13)%、パリカルシトール投与群全体で-16(-24~-9)%であった。プラセボ群と2 μ g/day群の比較では-20(-32~0%)、P=0.053。

【詳しくは】 http://www.ncbi.nlm.nih.gov/entrez/query.fcgi?cmd=Retrieve&db=PubMed&dopt=Citation&list_uids=21055801

最新進捗状

累計登録数のランキング・進捗状況等を報告致します。(11月18日現在)

各地区登録進捗

地区	施設数	累計登録数	今月登録数
北海道	9	87	1
山形	3	6	0
宮城	5	3	1
東京	29	54	0
栃木	2	7	0
茨城・千葉	16	13	3
神奈川	5	32	2
愛知	17	7	0
大阪・兵庫	52	259	0
奈良・和歌山	13	56	15
京都	5	67	0
広島・岡山	6	26	8
島根	8	6	0
徳島	2	5	0
高知	3	18	0
愛媛	1	18	0
福岡・佐賀	11	5	0
沖縄	7	5	0
合計	194	674	30

累計登録数ランキングTOP 9

順位	施設名/地区	登録件数
①	井上病院/大阪・兵庫	55
②	桃仁会病院/京都	47
③	北彩都病院/北海道	35
④	翠悠会診療所/奈良・和歌山	29
⑤	札幌北楡病院/北海道	25
⑤	永山クリニック/大阪・兵庫	25
⑤	大野記念病院/大阪・兵庫	25
⑧	大町土谷クリニック/広島	22
⑨	高知高須病院/高知	18
⑨	佐藤循環器科内科/愛媛	18

10月度登録数ランキングTOP 5

順位	施設名/地区	登録件数
①	紀の川クリニック/奈良・和歌山	14
②	大町土谷クリニック/広島	8
③	つくばセントラル病院/茨城・千葉	3
④	誠知クリニック/神奈川	2
⑤	苫小牧日翔病院/北海道	1
⑤	泉黒澤クリニック/宮城	1
⑤	宇治田循環器科内科/奈良・和歌山	1

症例報告書回収状況報告

登録	観察開始時	3ヵ月	6ヵ月	12ヵ月	18ヵ月	24ヵ月
674	568	446	391	181	55	9

J-DAVID事務局からお知らせ



症例登録・割付について

当センターでは「症例登録票・確認書」を受領後、必ず当日か翌日に割付作業を行い、担当医師宛てのFAXにて割付結果をお知らせしております。その後、FAXの受信確認をお電話にて行っております。一両日中に割付結果が担当医師のお手元に届いていない場合は当センターへご連絡のうえ、ご施設にてもご確認くださいようお願い申し上げます。



編集・発行：J-DAVID研究会事務局
〒545-8585大阪市阿倍野区旭町1-4-3
大阪市立大学大学院医学研究科
代謝内分必病態内科学 内
電話 06-6645-3806 FAX 06-6645-3808
J-DAVID試験データセンター
電話 06-6645-3443 FAX 06-6646-3588

ホームページもご覧ください。
<http://j-david.info/>